

製品名: Smad2 (リン酸化Ser250) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21461**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:58kD;Observed MW:58kD

抗原情報

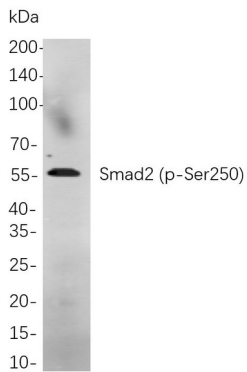
遺伝子名	SMAD2 SMAD2;MADH2;MADR2;Mothers against decapentaplegic homolog 2;MAD homolog
別名	2;Mothers against DPP homolog 2;JV18-1;Mad-related protein 2;hMAD-2;SMAD family member 2;SMAD 2;Smad2;hSMAD2
遺伝子 ID	4087.0
SwissProt ID	Q15796
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

細胞局在：細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエ遺伝子「mothers against decapentaplegic」(Mad) および線虫遺伝子 Sma の遺伝子産物に類似したタンパク質ファミリーである SMAD に属する。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子である。このタンパク質は、トランスフォーミング成長因子 (TGF) - β のシグナルを媒介し、細胞増殖、アポトーシス、分化など、複数の細胞プロセスを制御している。このタンパク質は、SMAD 受容体活性化アンカー (SARA) タンパク質との相互作用を介して TGF- β 受容体にリクルートされる。TGF- β シグナルにตอบสนองして、このタンパク質は TGF- β 受容体によってリン酸化される。このリン酸化は、このタンパク質と SARA の解離と、ファミリーメンバーである SMAD4 との会合を誘導する。SMAD4 との会合は、転座に重要である。

研究分野

画像データ



TPA で 48 時間処理した A549 細胞のライセートを Smad2 (p-Ser250) ウサギ mAb を用いてウェスタンブロット解析した。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。